

○事業所名	放課後等デイサービス モッキー			
○保護者評価実施期間	2025年 3月 7日		～	2025年 3月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数)	9
○従業者評価実施期間	2025年 3月 18日		～	年 月 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 21 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の中での社会性がしっかりしており、子どもたちがルールとマナーを意識した行動ができています。	部屋ごとに構造化された環境を作っており、そこでのルールなども可視化している。子どもたちの動きや、興味関心に合わせて必要な再構造化をしており、使いやすい環境で自然とルールとマナーを意識した行動がとれている。	構造化や視覚支援により、子どもたちは自分でルールとマナーを守る行動がとれることを、家庭や学校にお伝えし、子どもたちにとってより良い環境づくりができるようにしていきたい。
2	スタッフがチームで、子ども理解を深めることができています。	常勤スタッフが主なチーム構成なので、朝のミーティングへのほぼ全員の参加ができており、前日の様子の振り返りから問題に対する対応策などがすぐに実行できている。ミーティングでその子の様子や状況、興味関心が何にあるか、次へのステップなどが共有できている。	子ども理解をさらに深め、ひとりひとりがのびのびと力を発揮できるように、環境を整えていく。
3	困ったことなどの相談の練習を重ねていることで、子どもたちがスタッフを信頼し、自分から相談できる姿がある。	困った時のヘルプを出す練習からスタートし、お友達とのトラブルを「見える会話」で可視化し理解することを繰り返している。最近では、事業所内でのトラブルはなくなり、学校での困りごとを相談してくる子どもたちもいる。	学校での相談事に対して、理解し共感するだけでなく、自分で解決するためのアイデアを出すことで子どもが、学校で自分で解決することに向かって踏み出せるようにサポートしていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・放課後児童クラブや児童館との交流や障害がない子どもと活動する機会 ・地域交流の機会	積極的な交流の場は、保護者様から『交流を望んでいない』という声もあり、していない。近所のお店での買い物や外出などが交流の場になればと考えている。	事業所の中だけではなく、お買い物や外出などで地域交流をしていることをお知らせしていく。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携を支援する	働く親御さんが多いこともあり、保護者会などは求められていない現状がある。	姉妹事業所のピピ2が、年1回程度のスタッフと保護者との合同研修会を行っているので、それにモッキーも参加していくことを検討したい。
3	避難訓練の周知	年2回の避難訓練を行っているが、たまたま訓練の日のご利用でない方への報告ができていない。	お便りやフェイスブックなどで報告や周知ができるようにしていきたいと思う。